

平成18年度 施策評価表

所属 21100000

都市整備部 街づ調整課

施策	1137 公共交通				
区分					
対象	公共交通を利用する者				
施策意図	交通不便地域の改善が進み、多くの人々が公共交通を利用している				
現状と課題	平成17年3月15日に発生した東武伊勢崎線における踏切事故などにより、緊急の踏切対策や連続立体交差化事業に対する区民ニーズが高まっている。また、規制緩和に伴い、バス事業に対する区民ニーズも高まっている。				
成果指標	1：区内の交通の便がよいと思う区民の割合（マーケティング調査）				
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度 44.60	平成18年度 44.60	
		実績	43.70		
	成果指標2 []	予定			
		実績			
	成果指標3 []	予定			
		実績			
	トータルコスト (千円)	予定		857,957	
		実績	862,083		
施策の位置付け	区の関与度合	区中心。区が主体となって取り組むべき課題であるが、実現には区民と一体となった取り組みが不可欠である。			
	区民ニーズへの貢献	非常に大きい。基本計画の区民フォーラムや自治町会連絡会などにおいても、公共交通網の充実に対する要望は非常に高く、ニーズへの貢献度は非常に大きい。			
	成果向上の必要性	向上必要。区民ニーズも高く、施策成果水準の向上が必要である。			
	成果向上の容易性	容易ではない。人口減少社会を迎える中で、公共交通、特に鉄道網の充実を図る取組みは、採算性の壁に阻まれ難しく、より身近な公共機関のバス網の充実を図る必要がある。			
位置付け総合評価	継続。公共交通については、これまで連立事業等を含め、力を注いできた経過がある。今後とも、これらを踏まえ、関係者の合意形成を図り、進めていきたい。				
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称		トータルコスト(千円)	総合評価
	113701	地下鉄8・11号線及び環七高速鉄道建設促進（公共交通網の建設）		10,360	5
	113702	地域乗合タクシー運行事業運営費助成		12,414	5
	113703	京成押上線連続立体交差事業負担金（京成押上線立体化の促進）		834,699	5
	113704	京成高砂駅～小岩駅付近開かずの踏切対策検討調査委託		4,610	5

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 21100000

施 策 1137

都市整備部 街づ調整課

公共交通

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		211,791		
		都道府県支出金	(2)		150,236		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		225,060		
		一般財源	(5)		267,954		
	直接費	事業費	(6)		826,853		
	職員人件費	人件費	(7)		28,188		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数：賦課)	(9)		3.24		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		3.24		
	間接費	(12)		0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		2,916		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			2,916		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			857,957		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	224,258			
		都道府県支出金	(21)	193,096			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	300,912			
		一般財源	(24)	141,540			
	直接費	事業費	(25)	838,807			
	職員人件費	人件費	(26)	20,999			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数：賦課)	(28)	2.53			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	2.53			
	間接費	(31)	0				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	2,277			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	2,277				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	862,083				

施策名	公共交通
-----	------

担当課： 街づくり調整課

施策の達成状況

【達成度評価】
計画通り推移している

構成事務事業の施策成果貢献度 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果向上の余地	大		京成高砂駅～小岩駅付近開かずの踏切り対策検討調査委託 京成押上線連続立体交差事業費負担金	
	中	地域乗合タクシー運行事業運営費補助 地下鉄8・11号線及び環七高速鉄道建設促進(公共交通網の建設促進)		
	小			
		小	中	大
施策成果への貢献度				

構成事務事業の次年度方向性 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果の増減方向	向上	地域乗合タクシー運行事業運営費補助 京成高砂駅～小岩駅付近開かずの踏切り対策検討調査委託		
	維持	地下鉄8・11号線及び環七高速鉄道建設促進(公共交通網の建設促進) 京成押上線連続立体交差事業費負担金		
	減少			
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】
鉄道網の充実については、時間と労力がかかるが、事業などを着実に進めていくことが必要である。また、新バス路線に対する区民ニーズは高く、不便地区解消に向けた新たな取り組みが必要である。